

議会だより

P6~11

議員12名による一般質問

高浜町の姿勢について徹底議論

COTENTS 9

平成30年度一般会計決算認定！……………P2

社会福祉施設整備事業、議会が問う…P3・12

いよいよ奨学金返還サポート始動……P3・12・13

青郷地区体育大会、老若男女による玉入れ。
みんなで力を合わせ、地域内の親睦を深める。

第140号

平成30年度一般会計歳入歳出 決算を全員賛成で認定

TOPICS

一般会計

歳入総額 118億円
歳出総額 110億円

平成30年度一般会計歳入歳出決算を慎重審議の結果、全員賛成で認定した。
昨年29年度と比べて歳入は5.5%、歳出は6.8%の減少となった。

【主な大型事業の支出】

- 柿ヶ渡線新設事業費(3億9,339万円) ●原子力災害制圧道路新設事業費(仮称三山線5億9,044万円)
- 緑ヶ丘2号棟改修工事費(8,488万円)
- 緊急車両等車庫整備及び庁舎職員等駐車場取得費および物件補償費(1億9,481万円)
- 社会福祉センター改修工事費(2億7,864万円) ●福井国体推進事業費(4億2,191万円)

財政健全化判断比率は、基準を下回っている。
前年度に比べ実質公債費率(8.2→7.6%)、将来
負担比率(9.9→7.5%)が若干改善している。

(井上順也)

●高浜町の健全化判断比率

区 分	高浜町の 健全化判断比率	早期健全化 基準
実質赤字比率	— %	15.0%
連結実質赤字比率	— %	20.0%
実質公債費比率	7.6%	25.0%
将来負担比率	7.5%	350.0%

※財政健全化判断比率…基準を超えると総務大臣に報告し、国の管理下で財政再建に取り組まなくてはならない。



柿ヶ渡線

不便を解消し、集落の維持と活性化を目指す

TOPICS

高浜町において少子高齢化による内浦地区住民の不便解消と地域振興を図る目的で、内浦地区と舞鶴市を結ぶバスを、複数集落が共同して自主的に行う地元運営型バス事業である。この事業は、福井県が積極的に進める集落の維持・活性化対策と連動するものであり、内浦地区を町内の集落活性化のモデル地区と位置づけて実施するものである。バスの運営は、行政からの補助と地元負担(区費等)で運営される。

名称は「内浦ぐるりんバス」。内浦地区を上瀬方面、神野浦方面、音海方面の3つに分け、それぞれの方面から舞鶴市の病院やスーパーなど5つの決められた目的地を回る。内浦地区に住所を持つ方であれば誰でも利用できる。



ささっと買い物号(左)ぐるりん号(右)

内浦地区集落共同による移動手段
確保事業(内浦ぐるりんバス)

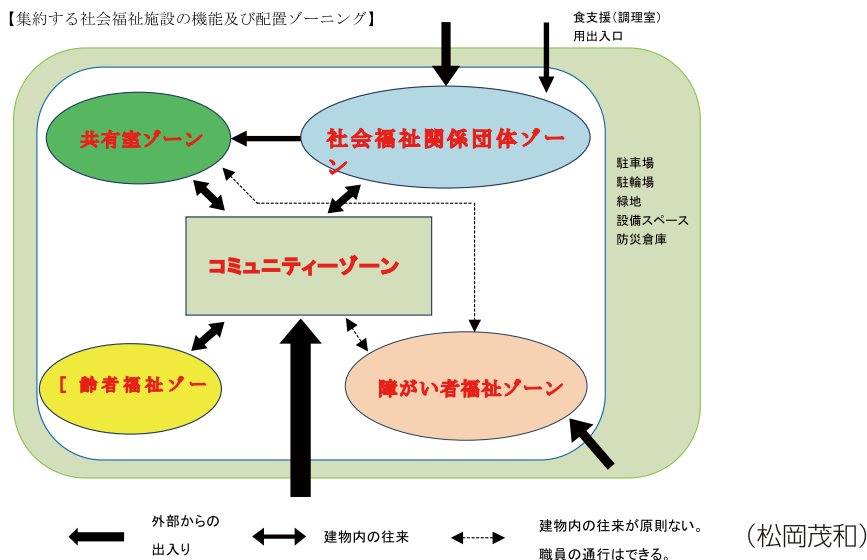
	運行日	1日便数	目的地
ぐるりん号	毎週、平日2日 (週によって 運行曜日が 変わる)	3往復	① 旬工房
			② 業務スーパー
			③ JR東舞鶴駅
			④ 舞鶴共済病院
			⑤ 舞鶴医療センター
ささっと 買い物号	毎週、木曜日	1往復	① 旬工房
			② 業務スーパー

(河島浩彦)

多様性ある地域福祉の拠点づくりを

この度高浜町は、社会福祉施設基本構想をまとめ建設候補地である老人憩いの家付近のボーリング調査費が予算計上された。

社会福祉施設の具体的な整備計画はこれから策定されることになるが住民主体の地域福祉の活動拠点であるだけに設置場所、規模、内容等できるだけ住民の意見を取り入れていく必要がある。老人憩いの家瑞祥苑の建て替えか、併設か等広く町民のニーズ調査をして、多くの町民の意向が反映される施設づくりになるよう注視したい。



高浜町社会福祉施設 建設に向けて



若者たちが帰ってきやすい高浜町へ

Uターン奨学金返還サポート事業として、9月補正予算において330万円が計上された。募集期間は、令和元年10月からで、対象人数は17名(内高校2名・大学15名)、給付額については、高校卒業者に対しては返還総支払額の全額(最大100万円)、大学卒業者に対しては返還総支払額の2分の1の金額(最大200万円)である。

向学心に富み進学意欲と能力を有しながら、経済的理由により、公的機関から奨学金の貸与を受けて、高校や大学に進学し、卒業後、高浜町内に居住する意思を持ったものに対し、借り入れた奨学金等の返済の一部について、高浜町Uターン奨学金返還サポート補助金を交付することにより、若者の活躍の場を広げるとともに、高浜町内への定住促進を期待する。詳しくは厚生文教常任委員会報告に記載あり。

給付額 5年間で 最大 200万円	制度利用者 募集中! 募集期間 令和元年 10月1日(火) から 令和2年 3月31日(火) まで
--	--

(松井昭人)

Uターン奨学金 返還サポート事業





9月定例会では以下の議案を慎重審議しました

○…賛成 ×…反対 △…棄権 ▲…欠席 ※議長は採決に参加しないので「／」となります		議決結果	渡邊	小幡	磯部	井ノ元	廣瀬	上尾	大塚	井上	西野	児玉	矢野	松岡	河島	松井	関連ページ
陳情第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択	全員賛成採択	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第44号	令和元年度高浜町一般会計補正予算(第2号)	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P3・P5 P12・P13
議案第45号	令和元年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P14
議案第46号	令和元年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P14
認定第1号	平成30年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定	全員賛成認定	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P2・P12 P13
認定第2号	平成30年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成認定	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P14
認定第3号	平成30年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成認定	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P14
認定第4号	平成30年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成認定	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P14
認定第5号	平成30年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成認定	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P14
認定第6号	平成30年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成認定	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P15
認定第7号	平成30年度高浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成認定	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P15
認定第8号	平成30年度高浜町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成認定	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P15
認定第9号	平成30年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成認定	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P15
認定第10号	平成30年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定	全員賛成認定	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P15
議案第47号	高浜町総合計画策定条例の制定	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P17
議案第48号	高浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P15
議案第49号	高浜町奨学金返還支援基金条例の制定	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P3・P14
議案第50号	高浜町印鑑条例の一部を改正する条例	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P14
議案第51号	高浜町立保育所条例の一部を改正する条例	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P14
議案第52号	高浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	P14

○…賛成 ×…反対 △…棄権 ▲…欠席 ※議長は採決に参加しないので「/」となります		議決結果	渡邊	小幡	磯部	井ノ元	廣瀬	上尾	大塚	井上	西野	児玉	矢野	松岡	河島	松井	関連ページ
議案第53号	高浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	P14
議案第54号	農地等高度利用促進事業計画	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	P15
同意第2号	教育委員会教育長の任命	全員賛成同意	▲	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第3号	教育委員会委員の任命	全員賛成同意	▲	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	適任	▲	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	適任	▲	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発意第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択	全員賛成可決	▲	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	—

本会議での質疑・討論

質疑 議案第46号

小幡憲仁議員

会計年度任用職員の休暇、勤務条件を定める条例制定の必要はないのか。

総務課長

それらは要綱で定める。

討論 議案第44号

賛成討論 磯部武史議員

内浦地区共同運行事業は、高齢者の移動手段確保の観点から見て有効な施策である。

賛成討論 井上順也議員

Uターン奨学金サポート事業に期待する。社会福祉施設整備事業は、町全体の敷地利用、施設整備を慎重に検討して進めて頂きたい。

討論 議案第48号

賛成討論 小幡憲仁議員

臨時保育士の給与が経験に応じてアップするよう給与表改訂を期待。

討論 議案第49号

賛成討論 小幡憲仁議員

Uターン促進にインパクトがある。住宅支援策との併用の検討を望む。

討論 議案第51号

賛成討論 小幡憲仁議員

クラス進級時に、他保育所への転出が無いことが確認できたので可とする。

討論 認定第1号

賛成討論 磯部武史議員

赤ふんバスのフリーパス化に加え、周遊バスと踏み間違え加速抑制装置導入補助も。

討論 認定第10号

賛成討論 小幡憲仁議員

多額の利益が出ている。これを活用して低所得層の料金引下げの検討を。

Q 6次化施設入札不調 対応策はどうか

A 不足分を増額せず、構造変更や
建物計画面積の縮小も含め再検討

磯部 武史 議員



◆6次化施設の入札不調とその対応策について

Q 入札不調を受けて、設計通り単価を上げて再入札するのか、設計変更して予算内に収めるのか。

A 単に増額するのではなく、建屋構造の変更や面積の縮小も視野に入れ、年明けには再入札を執行したい。

Q 2階建てで面積を縮小するなら、面積はそのまま1階建てで収まらないか。

A 柱の太さや本数、階段やエレベーターも必要になる。1階案も含めて検討する。

◆役場内ペーパーレス化に向けた取り組みについて

Q 議会でもよくあるが、資料を持ってきていないので後ほどお答えしますといったことや、議員側も問い合わせに対してパソコン等でキーワード検索ができ、正確に迅速な対応が可能となる。

A 段階的にペーパーレス化を進めてはどうか。

A 得られるメリットと、マンパワーや経費を勘案しながら、効果が高いところから進めていく。



Q 町内廃校活用状況と今後の活用計画は

A 地域の方に利用して頂きたい

井ノ元 康夫 議員



Q 内浦地区で、平成20年度末で閉校となった3校の活用と今後の計画について伺う。

A 閉校から10年以上が経過し、校舎を一部改修し、サロンや、防災対策施設に改修する等、地域の活動行事に利用されている。

他方、旧神野小については老朽化が著しく利用しづらい状況である。地域に根ざした活動が出来るよう改修も視野に入れ検討する。



旧神野小学校

Q 6次化施設の規模は大丈夫か

A 5年後には35万7千人/年の入込
5億2千万円の売り上げを予想

松岡 茂和 議員



◆職員の資質向上と処遇改善について
Q 長年町職員の給与や労働環境は県下最低水準にある。改善されたい。
A 30年度の高浜町のラスパイレス(国家公務員の平均給与

入込数や売り上げは、各種統計や近隣飲食業界の分析と地元出資法人による数値予想による。入札不調により予算内の設計変更で対応したい。

高浜漁港再整備事業の一つとして水産振興協議会内部に検討部会を設け、運営、人材、採算を検討してきた。

Q 漁業振興としての6次化は重要だが成功例は少ない。この施設の内容規模、運営法は誰が決めたのか。また漁業資源枯渇化の中で計画規模を見直してはどうか。
A 高浜漁港再整備事業の一つとして水産振興協議会内部に検討部会を設け、運営、人材、採算を検討してきた。



6次化施設イメージ

を100とした地方公務員一般職給与指数)は90と県下2番目に低い。
8町平均は92・6と長年の懸案でもあり国県の規制もあるができる限り平均指数に近づけたい。職員組合はないが互助会で職場環境の改善を図る。

Q 高浜町の落雷対策は

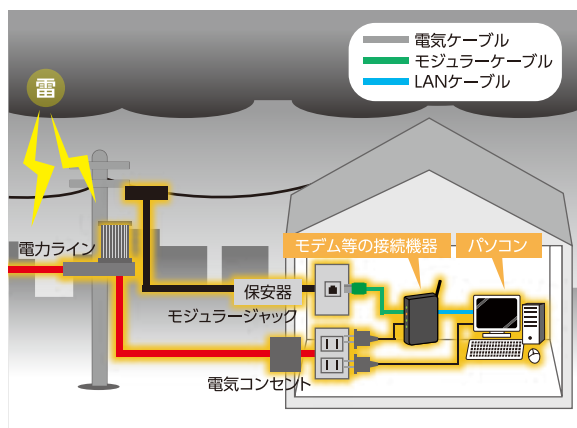


西野 朋宏 議員

A 被害が発生した場合に迅速に対処できるように、復旧対策の確認を行う

また、地球の温暖化の影響により今後、現在の1.5倍の確率で雷が落ちることになるとも報告されており、町の防災体制のみならず、市民の生活を揺るがす新たな脅威になるものと考え、現在、行政で行っている落雷対策と今後の方針について

Q 最近の異常気象による気象の変化で、落雷の発生数とエリアが増加している。



同。A 役場庁舎やライフラインなどの重要な施設には避雷針や避雷器の設置など、落雷対策はしている。
100%被害を防ぐことは技術的に困難であり今後とも適切に落雷対策を行ったうえで、被害が発生した場合に迅速に対処できるように、各施設管理者は維持管理者などと復旧対策の確認を行う。

Q 保育所の給食費を無償にできないか

A 消費税増税に伴い、国の方針通り徴収

渡辺 孝 議員



- Q** 今年10月から消費税増税を原資として3〜5歳児と、0〜2歳児(町民税非課税世帯)の教育・保育費が無償となる。
- A** 本町の保育料は、第2子が半額、第3子以降は無償としている。副食費も同様であり、全体の69・6%が無償または半額となっている。
- ◆家庭ごみ分別について**
- Q** 現在、若狭地方4市町は「組合」をつくりごみ処理事業の共同実施計画を進めている。
- A** 「組合」による新しい清掃センター建設費も、その後の運営費もごみ量が4市町の分担金に影響する。



- あらためて適正な分別を町民にお願いしたい。
- ◆上下水道費値上げについて**
- Q** 消費税増税に伴い上下水道料金が上がるという。
- A** 据え置けないか。
- A** 条例の規定どおり、消費税増税分を負担していただく。

Q 通学路の安全対策は



廣瀬 とし子 議員

A 道路出入口に注意喚起を促す路面標示を実施



中寄区 通学路

- Q** 国道27号から中寄へ入る通学路において、交通安全、防犯の両面について保護者からは「児童を一人で下校させるのは心配」の声が上がっている。が、対策は。
- A** 子ども達や住民の方が安全に通行できるよう、道路出入口に注意喚起を促す路面標示を今年度実施する予定である。
- ◆Uターン奨学金返還サポート制度について**
- Q** 公的機関から奨学金の貸与を受けて大学等に進学し、卒業後、町内に居住する意思を持った者に対して、借り入れた奨学金の一部について、「Uターン奨学金返還サ
- ◆花いっぱい運動**
- Q** 町の環境を良くするために、数年前に取り組んでいたが、事業が中止になっている。公共施設だけでも考えてはどうか。
- A** 各公共施設や花と緑のネットワークとも意見交換を行う。
- Q** 国道27号から中寄へ入る通学路において、交通安全、防犯の両面について保護者からは「児童を一人で下校させるのは心配」の声が上がっている。が、対策は。
- A** 対象者の把握などにおいても事務が複雑になることが予想される。範囲を拡大しラインを引くことが妥当かと思う。
- Q** 国道27号から中寄へ入る通学路において、交通安全、防犯の両面について保護者からは「児童を一人で下校させるのは心配」の声が上がっている。が、対策は。
- A** 子ども達や住民の方が安全に通行できるよう、道路出入口に注意喚起を促す路面標示を今年度実施する予定である。
- ◆Uターン奨学金返還サポート制度について**
- Q** 公的機関から奨学金の貸与を受けて大学等に進学し、卒業後、町内に居住する意思を持った者に対して、借り入れた奨学金の一部について、「Uターン奨学金返還サ

Q 青葉山健康長寿の里「ハーバルビレッジ」の運営の現状は

A 指定管理者が7月よりハーバル運営と薬草栽培に分かれ、代表者が異なる状態である **大塚 ひとみ 議員**



Q 薬草と体験観光の拠点ハーバルビレッジの拠点としてオープンし、「薬草の町 高浜」という新たな可能性を秘めた切り口で再出発を図り期待感も大きかったが、今、その運営に不安を抱き、疑問視する声がある。現状を問う。

A 7月からの体制の変化に対して、行政として当初の事業計画の実施について履行指導を重ねており、町民の皆さんから不安視されぬよう努める。また、二分した両団体の連携または中心になる団体の見極めが必要と考



薬草と体験観光の拠点ハーバルビレッジ



町花ハマナス

えている。
一団体内部の問題ではなく、当町の薬草事業とその拠点であるハーバルビレッジそのものの運営に関わる重要な問題であると認識している。

Q 「ハマナス」は皇后陛下雅子様のお印。改元の年を機に、栄えある町花を町内に復活しては。

A 今一度、花関連事業での普及、植栽活動の拡大や、計画中の公園整備の中で積極的に推進できないか検討したい。

Q ひきこもりの方の支援体制はあるのか



井上 順也 議員

A 初期は保健福祉課・福祉グループが対応

◆観光資源の活用による誘客増加策の充実について

Q 入込み数減少の歯止めとしての「海プラスワン」の誘客策はないか。

A 安土山展望台については、環境省の交付金

Q 高浜町におけるひきこもりの方の現状と8050問題の把握は。相談窓口、支援体制はあるのか。

A 現況把握は、民生委員の方に、調査して頂いており、10月に結果が出る。1件でも多く支援ができ、ひきこもりの方の減少につながる相談体制の充実、周知徹底に努める。

居場所については、新社会福祉施設の基本設計で検討する。



改修が期待される安土山



事業への登載の準備を進めており改修していく。
海岸遊歩道のカラー化については、関係課と連携し検討する。海岸清掃は、住民と事業者の間の体制を検討する。

Q 情報バリアフリーの推進、UD (ユニバーサルデザイン) フォントの導入を

A 順次、導入していく

児玉 千明 議員



Q UDとは、できるだけ多くの人が利用可能であるデザインを基本コンセプトにした、使いやすさ、見やすさをといった細かい部分にも配慮・工夫したデザインであり、高浜町の文書、広報等に取り入れ、職員間でもMUD(メディアユニバーサルデザイン)を学ぶ機会を創出できないか。

A システム更新され次第、順次取り入れていく。

Q 弱視や読み書き障害等、そのような問題は学校現場において把握されているか。

A 現状把握はしていない。

●その他
夏のゴミ問題についてを質問。

MUDについても、取り入れていく。

Q 若者の地元離れ、担い手不足をちゃんと考えているのか

A 必要な施策を講じていく

松井 昭人 議員



Q 高浜町の地元就職率はどれくらいか。

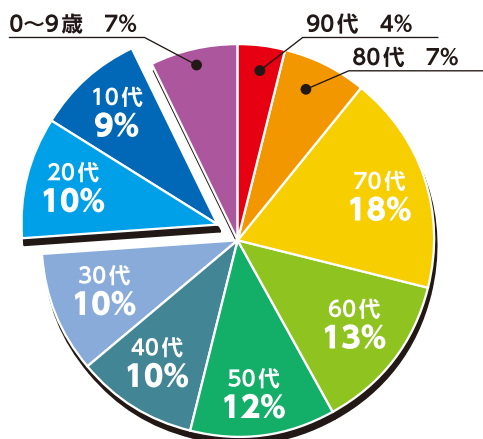
A 当町における地元就職率は把握していないが、人口減少対策の一環で、新成人を対象にアンケートを実施しており、希望調査ではあるが約6割が将来的に移住する意思があり、残る4割は居住しない意向である。

Q 若者が地元を離れる理由を把握しているのか。

A 本人が希望する企業や就職口が本町にあり、生活環境の便利さや娯楽を備えていることが必要条件になっていると思われる。

Q 担い手確保のための対策、町政から見た若者への魅力のアップは。

A 就職マッチングフェアの開催や、地元企業と直接話す場を設け、地元就職



高浜町年代別人口比率



を促進する事業を実施したり、町内外へ発信PRする事業や、町内小中学校で行う郷土理解を深める授業なども行っている。

●その他
6次産業施設に伴う駅前道路236号の安全性について質問。

Q 長時間労働が指摘されている教員の働き方改革に対する取り組みは

A 現在の取り組みや指導以外にも最大限のサポートを行う

河島 浩彦 議員



Q 各小中学校の教員配置人数について、勤務時間削減を考えれば、学校側が要望している人数配置になっているか。

A 国が定める定数によって適正な人数配置であると考えている。高浜町では各学校の定数に加え、

A ノー残業デーの設定や勤務時間外の留守番電話導入を行った。部活動への負担軽減として、部活動休業日の設定、部活動の適正化、副顧問の廃止を実施した。長期休業中の対策として、学校閉庁日を設定し負担軽減を図っており、どの市町でも同様の取り組みを実施している。

Q 学校業務は非常に多岐にわたり、教員の仕事量が増え、負担が増大している状況が続いている。数年前からタイムカードを導入しているが、その他の取り組みは何か。また他市町の取り組みはどうか。



働き方改革が求められる教育現場

町単独講師や教育相談員、支援員、部活動指導員や地域スポーツ指導員を配置し、多忙化解消に取り組んでいる。

今後も学習支援や部活動の負担軽減など様々な方向から学校運営に取り組む。

●その他
「通学路の安全性」、「園部地区周辺の交通環境」について質問。

Q 子育て世代包括支援センター(kurumu)の土日開館を求める

A 土日を含む利用日枠拡大に向けて検討を進める。

小幡 憲仁 議員



Q 子育て世代包括支援センター(三松センター)と児童センター(和田・高浜・青郷)の機能を本来の児童福祉施設として活用する観点から見直しを行うとともに老朽施設を改修し活用すべき。

A 児童館(三松セン

◆児童館と児童センターの今後の活用について

A 多くの保護者からニーズもあり検討したい。ただし土日開館には専門職の配置の課題もあり、子ども・子育て会議にも諮り計画的に進める。

Q 子育て世代包括支援センター(kurumu)は、オープン以来、想定を超える成果を上げている。

今後、課題となる男性育児参加を促すためにも利用者ニーズの高い土日開館に踏み切るべきでは。

●その他
子どもの安全対策について質問。

児童センターも児童館の見直しと併せて検討する。

センターは、三松センターの機能を見直し、児童館機能も他施設に移管することも踏まえ検討する。



土日開館が求められる kurumu

予算決算

常任委員会報告

委員長 小幡 憲 仁

整備予定の社会福祉施設の
場所選定は適切か

◇9月9日(月)～9月10日(火)

今回、地質調査業務を行う社会福祉施設の整備予定地は瑞祥苑

と高浜中学校テニスコートを撤去して
実施予定となっている。まだ使える施
設を撤去することの抵抗感と子生川の
氾濫リスクが懸念される。旧役場跡地
など他に適地はなかったのか。

A 瑞祥苑は施設が老朽化し改修には多額の費用が必要。予定地は旧役場跡地も含め複数の候補地から慎重に絞り込んで最適値と判断している。地質調査結果で場所は最終確定する。

Q Uーターン奨学金返還サポート
事業では、高浜町にUーターン
した者に対し奨学金の返還サポートを
行うが、たまたま高浜町に仕事の関係
で移住した者（高浜町に定住の意思は
ない）に対してもサポートしてしまう
ことになるのか。

整備予定の社会福祉施設とは

保健福祉センター(和田)、社会福祉センター(緑ヶ丘)、瑞祥苑(宮崎)、旧ボート会館(事代)に分散した地域福祉活動の拠点を高浜地区に集中させて将来に不安のない地域福祉体制を構築する。

●令和2年～4年：設計・建設工事

委員会で審査した議案

- 令和元年度一般会計補正予算
●主な事業



瑞祥苑とテニスコート

A 補助金交付要綱に基づき厳正に審査を行う。不正受給があれば返還を求める。

■ 6次産業施設の設計見直しは慎重に

Q 6次産業施設設計業務3438万5千円について、今年度行つた入札が不落となった。

今後の対応は。

A 2階のレストラン部門を縮小し、事務所部分だけを残した事実上の1階建て構造に変更する案を検討している。

 これまで過大施設ではないかと
の懸念がある中、施設運営の必
要から検討を重ねてきた施設規模を安
易に変更するとなれば、これまでの基
本設計・実施設計費が無駄になる。慎
重に進めるべき。

慎重に進めていく。



ハーバルドレッシング

青葉山健康長寿の里指定管理委託料他2079万8千円について

て、ハーバルビレッジを青葉山麓研究所が指定管理業務を受託しているが青葉山麓研究所の内部組織の問題で業務を正常に履行できるか懸念される。葉草栽培事業も含め実態はどうか。

草栽培事業も含め実態はどうか。

A ハーバルビレッジの指定管理部門と薬草栽培事業部門の組織が分かれた。各業務が正常に履行できているか見極めをしている段階である。適切に対応したい。

Q まちなか交流館運営事業503万5千円について、多額の税金

を使って整備した施設であるが、あまり活用されていないのではないか。

A イベント開催時は集客もあるが、まちなかの賑わい創出としての活用面で課題もある。

今後はサテライトオフィスとしての利用も視野に入れた活用策を検討する。



厚生文教

常任委員会報告

委員長 廣瀬 とし子

UIターン奨学金返還サポート事業の目的は

◇9月13日(金)

Q 本条例の制定により募集されるUIターン奨学金返還サポート事業の目的と、対象者および給付年数と給付額について伺う。

A 公的機関から奨学金の貸与を受けて大学等に進学し、卒業後、高浜町内に定住する意思を持った者に対し、借り入れた奨学金の一部について、補助金を交付することにより、若者の活躍の場を広げるとともに、高浜町内への定住促進を図ることを目的とする。

給付年数は5年間。高校等卒業者は返還総支払額の全額(最大100万円まで)、大学等卒業者は返還総支払額の2分の1の金額(最大200万まで)が給付される。
本年度10月より募集したいと考えている。

委員会で審査した議案

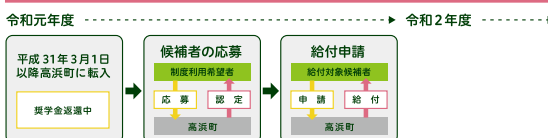
- 令和元年高浜町国民健康保険特別会計補正予算
- 平成30年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 平成30年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 高浜町印鑑条例の一部を改正する条例

応募から給付までの流れ

新卒者：令和元年度に大学等卒業予定の方の場合



既卒者：すでに大学等を卒業した方の場合



■高浜町立保育所条例の一部を改正する条例により、収容定員が改正

Q 収容定員(認可定員)に大幅な変更があるが何故か。

A 国の方針として、認可定員と利用定員は原則同じでなければならず、また、12月開園予定の認定子ども園の許可定員が75名であることも加味した状況での定員数である。

Q 年齢ごとの定員が超えた場合はどう対応するのか

A 年齢ごとの定員数変更は可能であり、超えた場合でも、場所がかわることのないよう対応していく。

Q 高浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正は、保育費に含まれている副食費に関するとか。

A 幼児教育・保育無償化により、主なものとして、副食費に係る費用の取り扱いに関する規定が追加されたための改正である。

収容定員の改正

民間認定こども園が整備されることに伴い、高浜町立保育所の収容定員の見直しを行う必要が生じたことにより、第6条の表を次のように改めました。

	現 行	改正後
和田保育所	170 人	95 人
高浜保育所	200 人	140 人
青郷保育所	150 人	70 人
内浦保育所	19 人	13 人

高浜町立保育所の収容定員



認定こども園

委員会で審査した議案

- 令和元年度高浜町介護保険特別会計補正予算
- 平成30年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出予算認定

総務産業

常任委員会報告

委員長 大塚 ひとみ

町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例、可決

◇9月12日(木)

Q 地域おこし協力隊の方も同じ処遇か。

A 現在月額18万円で、ベースは変わらないが、フルタイムの勤務形態なので、来年度からは賞与にも該当し、退職金についても待遇は良くなると認識している。

農地等高度利用促進事業計画(車持・岩神地区)

Q この事業はどこからの要望か

A 地元の方からの要望で、高浜町は圃場整備率が低く、田んぼに必要な客土が関西電力の土木工事から出て、地元負担も減りマッチングがうまくいった。

委員会審査した議案

- 平成30年度高浜町簡易水道事業、公共下水道事業、集落排水事業、宅地分譲事業、水道事業の各特別会計歳入歳出5件の決算認定

給料水準の見直し 例示(時給ベースでの比較)

職 務	現 行	新制度
事務補助	850～950円	885～1,045円
保育士 (保育士資格あり：保育補助)	900～1,000円	940～1,045円
看護師 (3年以上実務経験あり)	1,250円	1,319～1,045円
調理師 (調理師免許あり)	900～1,000円	933～1,001円

会計年度任用制度

期末手当、勤勉手当、退職手当、休暇の見直し等

原子力調査

特別委員会報告

委員長 松岡 茂和

1・2号機安全性向上対策工事進捗状況を確認

◇9月18日(金)

6月定例会に続き安全対策工事等喫緊の課題を中心に調査審議するため、高浜発電所を訪問。木島所長より安全対策工事の現況について詳しく説明を得た。



今後の安全対策工事の説明を聞く

高浜原子力発電所視察

安全対策工事等の現状を調査するため、原子炉格納容器上部遮蔽設置工事現場である2号機の最上部へ登り確認した。視察後、高浜発電所長への質疑があり、再稼動後の安全性や、核廃棄物の中間貯蔵、使用済み燃料処分、定



格納容器遮蔽工事現場

期検査、MOX燃料装荷などについて質疑があった。最後に、全国的に廃炉が進む中、浜発電所の役割は大きく、日本の原子力発電所のリーダーとして誇れるところと言われるよう緊張感をもって事の無きよう努めていただくよう要請した。

翌19日、構内トンネル内で作業員が一酸化中毒症状で9名が病院へ搬送される事故が発生。8日の蒸気発生器、流量モニター警報の誤報もあり発電所の信頼失墜や再稼動にも影響しないよう管理強化を求めている。

総合計画・総合戦略調査

特別委員会報告 委員長 西野 朋宏

「選ばれる町・高浜町」の実現に向けて

◇9月17日（火）

●議案第47号

◆高浜町総合計画策定条例の制定

◇新総合計画の適応期間

令和3年度から令和12年度までの10年間、令和7年度に後期5年間の必要な見直しを行う。

◇新総合計画の策定期間

令和元年4月から令和3年3月までの2か年、令和2年12月議会において行政から基本構想案が提出され、審議を行う。

◇新計画策定の実施体制

- ① 高浜町総合計画審議会
(有識者)
- ② 総合計画町民ワーキング委員会
(住民代表から構成)
- ③ 総合計画策定委員会(町職員)
- ④ 総合計画検討委員会
(検討委員会の設置)

議会改革調査

特別委員会報告 委員長 大塚 ひとみ

さまざまな場で意見交換・討論を！

◇8月20日（火）・9月17日（火）

議会基本条例の制定を中間目標に掲げ、8月20日、9月17日に委員会を開催。委員からは、

●町民から議員個々の考えや何をしているかわからない、また議員が自分の意見を主張しているかが見たいとの声がある。

●本会議より委員会を見て欲しい。

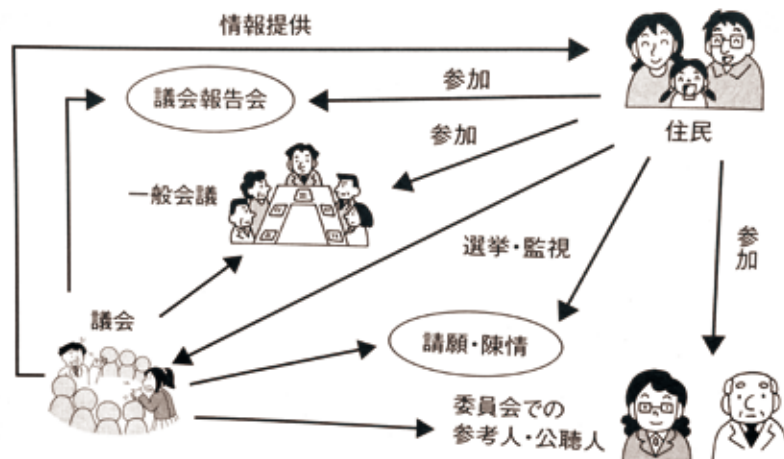
●先にコンセンサスを得ない事業が多いのではないかな。

●町民からの意見収集として議会だよりにFAX用紙掲載やアンケートを取っては。

等意見があった。

【決定事項】

- ① 議会基本条例は政策提言機能強化に重点を置く。
 - ② 議員間で討議出来る場を設ける。
 - ③ 町民からの意見収集の工夫をする。
- ※意見を頂いた後のフォローを含めて考える必要あり。



若狭消防組合

組合議員 松井 昭人

第188回若狭消防組合議会臨時会

◇7月8日(月)

若狭消防組合本部議場

●議案第1号

◆若狭消防組合火災予防条例の一部改正について

避雷設備に関する規格の改正、住宅用防災警報機等の設置の免除に関する条文の見直し。

【全員賛成で可決】

●議案第2号

◆若狭消防組合手数料条例の一部改正について

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令が、本年10月1日に施行されることに伴い、若狭消防組合手数料条例について所要の改正を行うため。

【全員賛成で可決】

●議案第3号

◆財産の所得について

救助工作車老朽化に伴い、新たに救助工作車を購入するため。

【全員賛成で可決】

嶺南広域行政組合

組合議員 小幡 憲仁

第2回嶺南広域行政組合議会臨時会開催

◇8月1日(木)

敦賀市立図書館議場

統一地方選挙に伴い新たな組合議員として初の臨時議会が行われた。

●議長、副議長の選挙

議長に敦賀市の福谷正人議員を選出、副議長に若狭町の藤本武士議員を選出

●議案第1号

◆嶺南広域行政組合議会

◆会議規則の一部改正について

一般質問の質問回数について現実の運用を規則の中に明記する内容

【全員賛成で可決】

●議案第3号

◆嶺南行政組合の監査委員の同意について

組合議会が新たな構成になったことに伴い、議会選出の監査委員として、高浜町の小幡憲仁議員を監査委員に任命することに同意求める件が理事者から提案された。

【全員賛成で同意】

若狭広域行政事務組合

組合議員 磯部 武史

令和元年第7回若狭広域行政事務組合議会報告

◇7月18日(木)

若狭町役上中庁舎議会委員会室

●議案第5号

◆令和元年度若狭広域行政事務組合一般会計補正予算(第1号)

広域ごみ焼却施設整備事業(解体工事)で、アスベストが含まれているため変更前1億6960万円から4億800万円に変更された。

広域ごみ焼却施設整備事業(建設工事)として、92億3011万3千円が追加補正された。

工事期間は令和2年度から令和4年度。

広域ごみ焼却施設整備事業(運営管理委託)82億2700万円が追加補正された。

委託期間は令和5年度から令和24年度の20年間。

また売電による収入が期間中に4億円見込める。

【全員賛成で可決】

●議案第6号

◆若狭広域行政事務組合一般廃棄物処理施設の設置に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する情勢の制定

高浜町及びおおい町で実施した生活環境影響調査の結果の縦覧手続、意見書の提出の方法を定め、一般廃棄物処理施設の設置に関し、利害関係を有する方に意見書を提出する機会を付与することを目的に制定する。

【全員賛成で可決】

●議案第7号

◆監査委員の選任

識見を有するもの

高浜町 松本有策氏

【全員賛成で同意】

●議案第8号

◆監査委員の選任

議員のうちから選任するもの

若狭町議会 清水利一氏

【全員賛成で同意】

原子力関連施設視察報告

原子力対策特別委員会委員長 松岡 茂和

◇7月10日(水)

◆北海道泊原子力発電所視察

立派なPRセンターとまりん館で施設概要、安全対策工事の説明を受け、施設内を視察した。高浜発電所と同じ安全対策工事が進められていたが、敷地内の活断層の証明データを収集中とのことで再稼動は厳しい現状との報告を受けた。



泊原子力発電所



泊発電所PR館

◇7月11日(木)

◆幌延深地層研究センター視察

稚内空港から南へ一時間、広大な丘陵地の一角に日本原子力研究開発機構幌延地層研究センターがある。

この施設は高濃度核燃料廃棄物最終地下処分地の安全性等研究するための着工され最終段階を迎えているとの説明を受け、実際に地下350mまでエレベーターで行き、人間活動、自然現象の影響を受けにくく、ガラス固化した高濃度核燃料廃棄物の最終処分地として深地層処分が望ましいとの説明を受けた。



幌延深地層研究センター

◇7月12日(金)

◆日本製鋼所室蘭製作所視察

室蘭港に面する広大な工場、世界有数の素形材メーカー、日本の原子力圧力容器やタービン等海外へも多く輸出されている。

鉄くずから鋼板、鋼管、大型製鋼を作る技術において世界最大を誇る。核燃料廃棄物中間貯蔵格納容器の現物もある。



日本製鋼所室蘭製作所



宅地分譲事業特別会計では、坂田グリーントウン4区画の売却があったために、歳入が前年度の80.7%増となり、一般会計に2,538万円を繰出した。なお15

区画が残っているので、早期に完売できるよう、より一層取り組んで頂きたい。

■基金の状況

財政調整基金に2億6,749万2,315円をはじめ合計7億5,667万5,510円の積立てを行い、一方で社会福祉センター改修工事や柿ヶ渡線整備工事、水産振興事

業等に合計4億2,987万9,614円を取り崩し充当した結果、今年度末の残高は、51億7,136万4,923円となり、前年度に比べ6.7%、約3億2,680万円の増加となった。

■町財政全般の状況

大型事業の終了に伴って国県支出金が減少したことによって、自主財源比率が前年度から8.5ポイント改善し56.3%となっている。財政の自由度を示す経常収支比率については、93.8%と3.9ポイント悪化した。

町の財政力を示す指標である財政力指数は、3カ年平均で1.049と0.028ポイント改善した。財政健全化

判断比率については、実質赤字比率は赤字なしであり、実質公債費率及び将来負担比率のいずれも基準内の全く問題の無い数値であるが、隣接町の値と比較すると、改善の余地もありと思われ、今後の財政運営についてはこの点に十分留意し、規律維持に努めて頂きたい。

■工事監査・出納検査の状況

柿ヶ渡線整備工事の第1、2工区、社会福祉センター改修工事と城山法面補修工事の3件について書類審査及び現地確認を実施した。

町道柿ヶ渡線は5年間に亘り総額約25億円を投じて、急な山中に道路を開設する工事であり、その第一段階は計画通りの進捗であったが、最後まで無事故で完工し、地域の安全交通と利便性向上に寄与するよう

期待する。

毎月行われる例月出納検査においては、歳計現金及び歳計外現金の収支について確認し、現金残高の実査ならびに口座残高の確認を徹底するとともに、支払書類等の照合を詳細に行い、正確に処理されているかを確認した。



■まとめ

現在の高浜町総合計画は令和2年度で終わるため、次期総合計画の策定が今年度から来年度にかけて行われる。

原子力発電の将来が不透明で、町の将来へのかじ取りも極めて難しい状況にある。人口減少と少子高齢化は着実に進んでいくなかで、危機感を持って、身の丈に合った財政規模へ縮減し、幸福度の高い町をつくるための諸施策が、町民を巻き込みながら、新総合計画としてまとめられることを期待する。

平成30年度 決算監査結果報告

代表監査委員／松本有策

監査委員／井上順也

平成30年度における高浜町の一般会計、特別会計並びに公営企業会計の歳入歳出決算について、それぞれの会計の平成30年度決算書類及び出納事務などの関係諸帳簿、その計数、正確性を確認するとともに、適正かつ効率的に執行されたかなど細部にわたり調査、照合した。

また、財政運営の状況等については、例月出納検査及び定例監査等を通じて、関係職員にも説明を求め審査した。

審査の結果、その計数はいずれも関係諸帳簿と符合して正確であり、その内容も適正に処理されていたことを確認した。

■一般会計の決算概要

▶歳入総額118億8,425万126円(前年度比5.5%減)

収入の主体である町税は歳入の33.1%と最も多くを占めているが、前年度比3.2%減少し、39億3,476万2,241円となった。

原子力発電所の各種安全対策工事による大規模償却資産の増加は令和4年度以降になるとみている。国庫支出金が26億8,043万8,572円で、歳入の22.6%を占めたが、前年度比11.9%の減少であった。その大部分を占める電源立地地域対策交付金は21億2,965万7,000円であった。

また県支出金は20億5,006万6,795円で、歳入の17.3%であった。大型の補助事業が終了したため、前

年度比34.8%の減少となり、町道柿ヶ渡線整備事業や中山間地域総合整備事業及び国体施設の整備、運営に対する補助があった。ふるさと納税寄付金は、前年度よりほぼ倍増の2,859万3,000円のご支援を頂いた。新しい返礼品の追加や寄付窓口となるインターネットサイトの増加等の効果が出たものと思われる。

一般会計及び特別会計の税金や保険料、各種使用料等の収入未済額が合計で約1億6,028万円あり、税の公平及び受益者負担の原則から、滞納解消へのさらなる努力をお願いする。

▶歳出総額110億3,899万2,489円(前年度比6.8%減)

歳出の中の本年度の主なものを挙げると、最も構成比の大きかった費目は土木費で、23億955万625円、歳出の20.9%を占め、前年度比50.1%の増加。町道柿ヶ渡線や原子力災害制圧道路、横断5号線、中山観音寺

線さらに新庁舎周辺道路などの道路の新設、改良事業に合計12億3,146万1千円支出し、他に緑ヶ丘団地2号棟の改修工事8,488万4千円があった。

歳出不用額は5億4,362万1,395円、現計予算の4.3%あった。予算編成の精度向上には一層留意されるようお願いする。

以上の結果、歳入歳出差引額は8億4,525万7,637円となり、翌年度へ繰り越すべき一般財源を差し引いた実質収支額は、5億5,494万7,578円の黒字となった。

また前年度実質収支額を差引いた単年度収支も1億3,622万415円の黒字となった。

■特別会計の決算概要

▶歳入総額37億9,576万4,755円、歳出総額37億893万2,040円(前年度比、歳入で2.1%、歳出で3.9%増)

国民健康保険特別会計では、被保険者数の減少により国保税収入が減少したことで、歳入は前年度比

8.9%減少、歳出も10.1%減少し、単年度収支は1,278万3,289円の黒字であった。

議員と語ろう会!!

総務産業、議会改革委員会ともに
11月中旬以降開催予定!

詳細が決まり次第、ホームページ・チラシ等にてお知らせします。



高浜町議会

12月
定例会

- 町民の皆様の議会傍聴大歓迎です! 事前予約は不要です。
- 受付は会議当日議会事務局で行っております。
- 次回定例会は12月です。お待ちしております。

お問い合わせ 高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710
<http://www.town.takahama.fukui.jp/index.html>



ぜひ議会
傍聴に
お越し
ください!

編集後記

9月は暦の上では秋なのに今年は未だ30℃を超える日が続いています。浜茶屋のおじさんは、今年は夏が遅くやってきた、お盆には台風、海水浴客の入りが少ない、9月に入ると幾ら熱くても浴客は来ない、今年は儲からなんだ、と嘆いています。

議員も理事者側も、インバウンドも含め、観光客がどうしたら増え、観光収入に結び付くのか日々思索する毎日です。例えば、6次産業化施設などは、集客の一助に為るのでは、と期待されます。

一つでも可能性を求めて前に踏み出す、失敗を恐れず果敢に挑戦する姿勢が町を発展させる原動力と為ります。何もしないで批判ばかりでは物事は進歩しません、町民に向けた提案も、全ては良かれとの思いからの発案で有り、町民として、成り行きを見守る心の大きさを持つ事も町の発展に繋がるのでは、と議会を通じて感じて居ります。みんな町を良くしたくて必死なのです。

広報特別委員会

文責 矢野 秀夫

委員長 児玉 千明
副委員長 松井 昭人
委員 井上 順也
矢野 秀夫

河島 浩彦
松岡 茂和